

恒久平和への想いを胸に

平和行動in長崎

8月7日～9日に4産別3地協と事務局から18名が参加して行われました。

1日目の平和ナガサキ大会では、高木会長から、「64年前この地で、広島に続いて原爆が投下され、多くの尊い命が奪われた。原爆投下はこの長崎の地に落とされたものが最後の日となるよう、原水禁や核禁会議とも協力をしながら様々な活動を進めている。今後も恒久平和の実現に向けて取り組みを進めていくので協力をお願いしたい」との挨拶がありました。

その後、被爆者の訴えとして、長崎被爆者手帳友愛会会長の中島さんから当時の体験談を聞くとともに「親子で綴る平和への願いⅧ」と題した構成詩の中で、当時の状況を物語る朗読と歌が行われ、平和アピールが採択されました。

翌日は、連合長崎の女性・青年委員会がガイド役となった「ピースウォーク」を行い、原爆投下中心地公園から平和公園、長崎原爆資料館などを巡り、5万4千羽の折り鶴を献納するとともに当時の悲惨な状況を見聞きして平和の大切さを共有しました。



平和ナガサキ大会



平和式典会場に折り鶴献納



高校生の1万人署名とカンパ活動にも協力

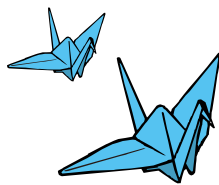


平和記念像の前にて

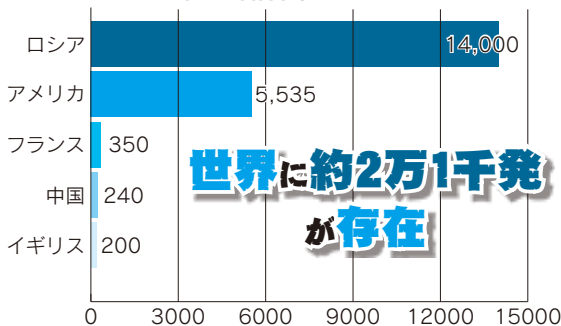
を 実施!!



ニコモールでの署名 (太田地協)



核兵器保有数



核保有5カ国に加え、インド、パキスタンの核保有、イスラエル、イラン、核実験した北朝鮮などが保有を疑われている。

平和パネル展を開催

8月3日～8月21日、群馬県勤労福祉センターおよび前橋テルサにおいて平和パネル展を開催しました。

沖縄での地上戦や広島・長崎に投下された原爆の脅威、前橋空襲での惨劇を記録したパネルを展示し、県民への平和意識の向上をめざし取り組みました。

また、連合群馬が取り組んでいる平和活動の紹介を行いました。

パネル展に合わせ、核兵器廃絶の1000万署名を展開し、パネル展の来場者30名からご協力をいただきました。



前橋テルサ



群馬県勤労福祉センター